

# ProMED-mail 情報 2017年 8月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	レプトスピラ症 フィリピン	今年1月から8月までの罹患数910例、死亡数96例。昨年同時期に比べ倍増。マニラ地区172例、ダバオ地区112例、西ビサヤ地区98例。
28日	類鼻疽 タイ	毎年、亜熱帯雨期の8月に感染ピークを認め、今年は1月から8月までに1978例を報告し、例年以上の感染拡大。類鼻疽菌に汚染された水、土壌との長時間接触や汚染食物の喫食により感染。
27日	ジェームスタウンキャニオン ウイルス 米国	ウエストナイルウイルスや東部ウマ脳炎ウイルスと同じアルボウイルスで脳炎や髄膜炎を起こす新興感染症。米国北部とカナダ南部の風土病で、北イェカやセスジャブカにより媒介され、オジロシカが増幅動物。今年メイン州で、初めて3名の患者発生報告。
24日	野兎病 米国	米国で年間約125例の報告。2017年6月アリゾナ在住73才女性の死亡例を報告。野兎から二次感染した飼い犬との濃厚接触により感染。野兎病は感染経路により多彩な症状を起こす。経気道感染が最も重篤な転帰となり得る。ヒトヒト感染なし。
24日	鳥インフルエンザH5N6 フィリピン	高病原性鳥インフルエンザH5N6のヒト感染死亡は2014年から全世界で20例。中部ルソンのパンパンガ州サンルイに所在する7鶏農場で8月始めにウイルス発見、37000羽死亡。2人の農夫が感染発症。
21日	マラリア 南スーダン	今年2月以降のマラリア登録は、90万人以上で、4073人死亡。病死全体の76%はマラリアにより、南スーダン史上最大の流行。政府当局はマラリア対策資金不足のため寄付、支援を訴えている。
20日	流行性耳下腺炎 オーストラリア	ケアンズで流行性耳下腺炎の年間発生数は平均1例だが、最近1ヶ月間に14例発生。流行の原因は、ワクチン接種率の低下、接種回数不足、免疫能の経時的低下、家族内での感染圧上昇。
18日	発疹チフス ネパール	8月15日から18日までにカトマンズ市内スクララジ熱帯感染症病院で少なくとも17例を診断。今まで発疹チフスの大多数は田舎からの報告であったが、今後、都市部でも多く発生する可能性大。
17日	サイクロスポラ症 米国	全米のサイクロスポラ食中毒発生件数は、年間1万件以上で全食中毒の0.1%を占め、輸入例は42%。10年間の報告症例は10州からあり、最多はフロリダ州で、全体の44.9%。死亡例無し。
12日	鳥インフルエンザH9N2 中国	広東省の2才女児が今年3例目の確定例。発病前に家鶏との接触あり。インフルエンザA(H9N2)のヒト感染の多くは、鳥との接触あり。臨床症状は軽い傾向。ヒトヒト感染なし。
11日	日本脳炎 ベトナム	日本脳炎は水田地帯のイエ蚊族が媒介する風土病で、ウイルスはサギ類が保菌し、ブタで増殖。ハノイの全脳炎患者176人中、24人が日本脳炎と診断。
10日	E型肝炎 アフリカ(チャド湖水浴)	遺伝子型1と2が開発途上国で水系感染。遺伝子型3と4は人獣共通感染。2016年8月以降チャド湖周辺の難民キャンプで流行。2017年7月チャドで1600人以上の疑いもしくは確定診断。18人が死亡。
6日	ジフテリア シンガポール	1962年からのワクチン接種定期化で2才幼児の接種率は96~98%。国内感染例は1992年以降無く輸入例も1996年以降無かった。21才バングラデシュ人労働者が7月に国内感染し死亡。48人の接触者に予防薬とワクチン接種実施。うち2名の濃厚接触者が二次感染し隔離入院。
3日	重症熱性血小板減少症候群 韓国	SFTSは韓国、日本、中国で報告されたダニ刺咬による新興ウイルス感染症。2016年、韓国では79名罹患し19名死亡。今年度の忠清南道では、14名罹患し5名死亡。現在有効な治療薬なし。